

学校だより

学校だより 11月号
令和5年11月1日
発行者 外日角小学校
TEL 283-0040

コミュニケーションをとるために大切な3つ

校長 板井 雅春

秋も深まり朝夕はめっきり冷え込むようになり、校舎から見える日本海も荒波の日が多くなりました。10月14日には、4年ぶりに制限のなくなった運動会が、好天の下で無事開催され、子どもたちの頑張りを見ていただきました。たくさんの保護者の皆様のあたたかい拍手、声援が子どもたちの力になったと思います。本当にありがとうございました。11月1日、2日には学校公開があります。子どもたちの学習での頑張りがぜひ見に来ていただけたらと思います。



さて、先日、参加した研究会で聞いた記念講演の内容が大変参考になったので、保護者の皆様にもお伝えしたいと思います。

演題 3秒で心をつかむコミュニケーション術

小西 美穂 氏 「情報ライブ ミヤネ屋」などのコメンテーターで活躍中

「人とコミュニケーションをとるために大切な3つ」

①悩んでいそうな人にはプラスの声かけよりマイナスの声かけも必要である

- ・健康面や悩みなどで明らかに元気のない人に「順調?」「元気でやってる?」などの声かけは、当人は「いや、・・・」と否定から入らないといけないので大変である。
- ・相手が上司からだど、「元気」だと答えざるを得ない。
- ・「疲れているんじゃない」「うまくいかないよね」などの同調の声かけが必要である。
- ・声のかけ方を変えることで相談してくれる人も出てくるようになった。

②否定の王様・女王様にならない

- ・「この会場遠いよね。誰が選んだの?」「天気予報当たらんよね。当てにならないな」など、このような否定的なことから話し始めると初対面から壁ができてしまう。
- ・「あれはダメだ」「これはダメだ」と不満や気付きはあると思うが、他の人は同調しにくい。
- ・他の人が話をしているときに腕組みをしたり首を傾げたりすることは、自分はそのことについて考えているのかもしれないが、相手には違うメッセージとして伝わっている。

③現在は隠さない人が支持される

- ・最近話題の事務所、大学などは、後から後から事実が出てくる。
- ・テレビ業界でもニュースなどの生放送中、失敗があると、いかにわからないように進めるか考えていた。今では、笑顔で謝罪し問題点を伝えるようにしている。
- ・マイナスをプラスに変えるには、隠したいときにどう対応するかである。

現在もTV番組のコメンテーターとして活躍する小西さんは、たくさんの著名人と話す機会があり、その時に特に意識しているそうです。さらに、年齢を重ねるに従い後輩が多くなるため、後輩と接する時にも上記3点を意識しているそうです。①②は私も当てはまる場所があります。人とコミュニケーションをとる上でこれからは気を付けていきたいと思います。保護者の皆様も意識してみてください。